

4-2. その他、公用財産施設

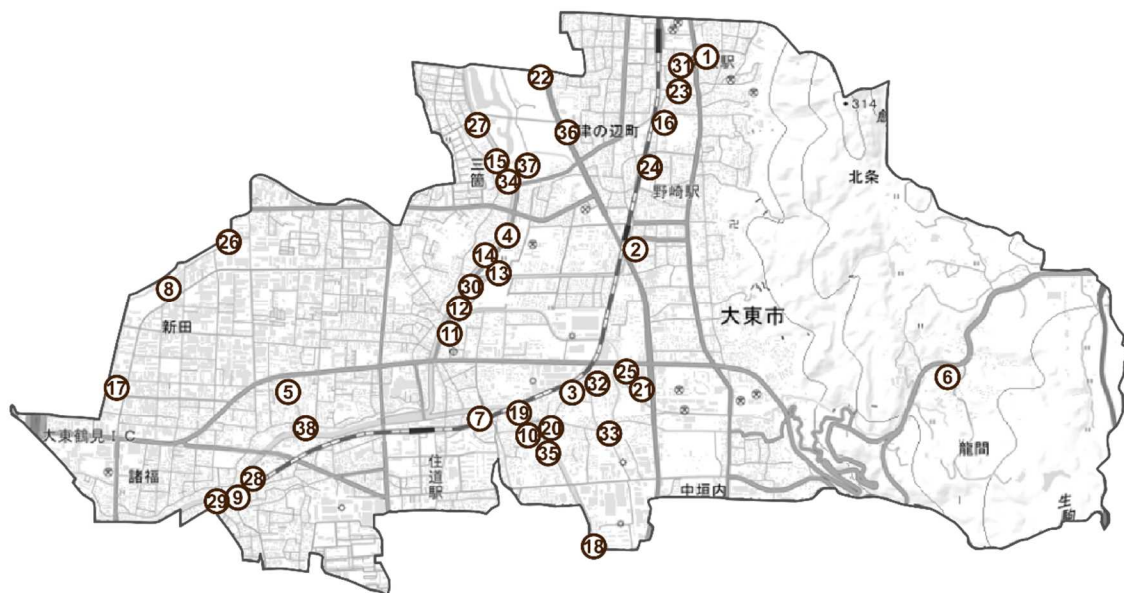
(1) 対象施設一覧

	施設名称	現在の 運営主体	棟名	構造	延床面積 (㎡)	建築年	築年数
2-1	北条消防倉庫	直営	第一分団車庫	S	62.03	1969	52
2-2	野崎消防倉庫	直営	第四分団車庫	S	54.08	1970	51
2-3	災害備蓄倉庫（御供田）	直営	災害備蓄倉庫	LS	262.00	1996	25
2-4	災害備蓄倉庫（三箇）	直営	防災備蓄倉庫	LS	107.74	2015	6
2-5	災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）	直営	防災備蓄倉庫	LS	80.00	2006	15
2-6	災害備蓄倉庫（龍間）	直営	防災備蓄倉庫	S	151.66	2015	6
2-6	文化財調査事務所	直営	東棟	LS	80.86	1997	24
			西棟	LS	80.86	1997	24
2-7	し尿処理センター	運営委託	－	RC・S	706.00	2005	16
2-8	灰塚第1ポンプ場	直営	－	W	28.50	1981	40
2-9	御供田第1ポンプ場	直営	－	S	－	1983	38
2-10	深野第1ポンプ場	直営	－	S	24.00	1973	48
2-11	深野第2ポンプ場	直営	－	CB	4.00	2004	17
2-13	深野第4ポンプ場	直営	－	CB	10.60	1972	49
2-15	三箇第3ポンプ場	直営	－	CB	10.30	1977	44
2-16	三箇第6ポンプ場	直営	－	CB	12.70	1985	36
2-17	北条第1ポンプ場	直営	－	S	23.10	1974	47
2-18	新田第1ポンプ場	直営	－	CB	9.60	1971	50
2-19	南新田ポンプ場	直営	－	CB	－	1985	36
2-20	泉町ポンプ場	直営	－	LS	20.10	1979	42
2-21	御供田第3ポンプ場	直営	－	CB	－	1983	38
2-22	銭屋川排水機場 ポンプ室	直営	－	RC	211.82	1986	35
2-23	五軒堀川排水機場 ポンプ室	直営	－	RC	－	1981	40
2-24	市場川ポンプ場	直営	－	CB	13.80	1981	40
2-25	百合ヶ丘ポンプ場	直営	－	CB	－	1983	38
2-26	寺川ポンプ場	直営	－	S	445.98	1976	45
2-27	御領ポンプ場	直営	－	CB	13.00	1979	42
2-28	三箇第8ポンプ場	直営	－	CB	－	1981	40
2-31	灰塚第3ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-32	灰塚第6ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-33	深野第5ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-34	明美の里第2ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-35	平野屋第1ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-36	平野屋第3ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-37	三箇第9ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-38	御供田第7ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-39	新津の辺ポンプ場	直営	－	－	－	－	－
2-40	深野北用排水機場	直営	ポンプ室	CB	36.75	1981	40
2-41	南郷排水機場	直営	ポンプ室	CB	4.60	1965	56

※構造：SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、LS：軽量鉄骨造、CB：コンクリートブロック造、W：木造

(2) 位置図

No.	施設名	No.	施設名
1	北条消防倉庫	20	御供田第3ポンプ場
2	野崎消防倉庫	21	銭屋川排水機場 ポンプ室
3	災害備蓄倉庫（御供田）	22	五軒堀川排水機場 ポンプ室
4	災害備蓄倉庫（三箇）	23	市場川ポンプ場
5	災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）	24	百合ヶ丘ポンプ場
6	災害備蓄倉庫（龍間）	25	寺川ポンプ場
7	文化財調査事務所	26	御領ポンプ場
8	し尿処理センター	27	三箇第8ポンプ場
9	灰塚第1ポンプ場	28	灰塚第3ポンプ場
10	御供田第1ポンプ場	29	灰塚第6ポンプ場
11	深野第1ポンプ場	30	深野第5ポンプ場
12	深野第2ポンプ場	31	明美の里第2ポンプ場
13	深野第4ポンプ場	32	平野屋第1ポンプ場
14	三箇第3ポンプ場	33	平野屋第3ポンプ場
15	三箇第6ポンプ場	34	三箇第9ポンプ場
16	北条第1ポンプ場	35	御供田第7ポンプ場
17	新田第1ポンプ場	36	新津の辺ポンプ場
18	南新田ポンプ場	37	深野北用排水機場
19	泉町ポンプ場	38	南郷排水機場



(3) 個別施設について

1) 北条消防倉庫

① 施設概要

施設名		北条消防倉庫							No.		2-1	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		北条 4 丁目 1 8 8 4 - 1				地区（中学校区）		北条中学校区				
所管部		危機管理室				所管課		危機管理室				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種中高層住居専用地域				
土地合計面積		54㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合築	有無	無	－						
	うち車椅子	－		具体的内容	－							
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
第一分団車庫		S	2	62.03	1969	－	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			無	－					
			土砂災害区域指定状況			有	土砂災害イエローゾーン					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-1	棟名	現況評価		
北条消防倉庫	第一分団車庫	築年数	52年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	18/38
			B 軽微な不具合が散見される	19/38
			C 深刻な不具合がある。	1/38
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	未対応
			エレベーター	未対応
			出入口自動ドア	未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-1	棟名	評価結果		
北条消防倉庫	第一分団車庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	1	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	1.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		C	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を越える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-1	立地状況			
北条消防倉庫	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	－	
		イエローゾーン	○	
		レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-1	北条消防倉庫	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-1	北条消防倉庫	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2-1		北条消防倉庫【第一分団車庫】									
建物性能 の現況	建物性能ランク		C								
	・建設から52年が経過しており一部の部位で深刻な不具合が生じています。 ・また、バリアフリーは全て未対応です。										
性質等に応じ た状況		—									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	築52年 経過	建物劣化状況として、全体にわたり不具合が生じ、一部の部位で深刻な不 具合が生じている（評価1）ため、今後、優先的に対応策の検討が必要									
	----->										
	・2021年に築年後52年を経過することになり、今後、建替えや改修等の検討を行う必要があります。 ・また、建物劣化状況として、全体にわたり不具合が生じ、一部の部位で深刻な不具合が生じている（評価1）ため、 今後、優先的に対応策の検討を行う必要があります。 ・なお、当該施設は、土砂災害区域（イエローゾーン）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた 検討が必要です。										

2) 野崎消防倉庫

① 施設概要

施設名		野崎消防倉庫							No.		2-2	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		野崎1丁目407-4				地区(中学校区)		四条中学校				
所管部		危機管理室				所管課		危機管理室				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		89㎡				所有区分		土地	-		建物	-
来客駐車台数	来客用	-		他施設との合築	有無	無	-					
	うち車椅子	-			具体的内容	-						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
第四分団車庫		S	2	54.08	1970	-	-	-		-		
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5~1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-2	棟名	現況評価		
野崎消防倉庫	第四分団車庫	築年数	51年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	28/38
			B 軽微な不具合が散見される	10/38
			C 深刻な不具合がある。	0/38
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	未対応
			エレベーター	未対応
			出入口自動ドア	未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-2	棟名	評価結果		
野崎消防倉庫	第四分団車庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	2.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-2	立地状況			
野崎消防倉庫	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
		レッドゾーン	－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
			福祉避難所	－
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-2	野崎消防倉庫	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-2	野崎消防倉庫	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2		野崎消防倉庫【第四分団車庫】								
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建設から51年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーは全て未対応です。									
性質等に応じ た状況	—									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	築51年が経過 建替えや改修等の検討を行う必要あり									
	・2021年に築年後51年を経過することになり、今後、建替えや改修等の検討を行う必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

3) 災害備蓄倉庫（御供田）

① 施設概要

施設名		災害備蓄倉庫（御供田）							No.		2-3	
施設分類		その他、公用財産施設					運営形態		直営			
所在地		御供田 2 丁目 4 8 8 - 5					地区（中学校区）		住道中学校区			
所管部		危機管理室					所管課		危機管理室			
都市計画区域		市街化区域					用途地域		第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積		－					所有区分		土地	民間	建物	市
来客駐車台数		来客用	2	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
災害備蓄倉庫		LS	2	262.00	1996	対象外	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-3	棟名	現況評価		
災害備蓄倉庫（御供田）	災害備蓄倉庫	築年数	25年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	27/31
			B 軽微な不具合が散見される	4/31
			C 深刻な不具合がある。	0/31
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	対応済
			エレベーター	未対応
			出入口自動ドア	未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-3	棟名	評価結果		
災害備蓄倉庫（御供田）	災害備蓄倉庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-3	立地状況			
災害備蓄倉庫（御供田）	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	－	
		レッドゾーン	－	
		避難所等指定状況		指定避難所
福祉避難所	－			
一時避難場所	－			
広域避難場所	－			

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-3	災害備蓄倉庫（御供田）	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-3	災害備蓄倉庫 (御供田)	2017年度	0	0	5	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	5	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	5	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 3	災害備蓄倉庫（御供田）									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建設から25年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーはスロープのみ対応済みです。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	定期的な施設点検・計画的な部位修繕等を実施 ※15年後（2036年）に築40年（次回大規模改修等検討時期の目安）									
	・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

4) 災害備蓄倉庫（三箇）

① 施設概要

施設名		災害備蓄倉庫（三箇）							No.		2-4	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		深野2丁目（河川敷内）				地区（中学校区）		谷川中学校				
所管部		危機管理室				所管課		危機管理室				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種中高層住居専用地域				
土地合計面積		93㎡				所有区分		土地	府	建物	市	
来客駐車台数		来客用	0	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容	－					
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
防災備蓄倉庫		LS	2	107.74	2015	対象外	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-4	棟名	現況評価		
災害備蓄倉庫（三箇）	防災備蓄倉庫	築年数	6年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	32/32
			B 軽微な不具合が散見される	0/32
			C 深刻な不具合がある。	0/32
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	対応済
			エレベーター	未対応
			出入口自動ドア	未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-4	棟名	評価結果		
災害備蓄倉庫（三箇）	防災備蓄倉庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-4	立地状況			
災害備蓄倉庫（三箇）	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	－	
		レッドゾーン	－	
避難所等指定状況	指定避難所	－		
	福祉避難所	－		
	一時避難場所	－		
	広域避難場所	－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-4	災害備蓄倉庫（三箇）	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料（土地）	その他負担金（共益費・積立金）
2-4	災害備蓄倉庫（三箇）	2017年度	0	0	17	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	17	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	17	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 4	災害備蓄倉庫（三箇）									
建物性能の現況	建物性能ランク	B								
	・建設から6年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーはスロープのみ対応済みです。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	定期的な施設点検・計画的な部位修繕等を実施 ※14年後（2035年）に築20年（次回大規模改修等検討時期の目安）									
	・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

5) 災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）

① 施設概要

施設名		災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）						No.		2-5	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営			
所在地		太子田1丁目12-38				地区（中学校区）		南郷中学校区			
所管部		危機管理室				所管課		危機管理室			
都市計画区域		市街化区域				用途地域		-			
土地合計面積		80㎡				所有区分		土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	-	他施設との合築	有無	有	市の他施設・他機能による複合化					
	うち車椅子	-		具体的内容	南郷小放課後児童クラブ						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考	
防災備蓄倉庫		LS	2	80.00	2006	対象外	-	-		-	
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満				
			土砂災害区域指定状況			無	-				
避難所等の指定有無			無	-							

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-5	棟名	現況評価		
災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）	防災備蓄倉庫	築年数	15年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	28/28
			B 軽微な不具合が散見される	0/28
			C 深刻な不具合がある。	0/28
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	未対応
			エレベーター	未対応
			出入口自動ドア	未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-5	棟名	評価結果		
災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）	防災備蓄倉庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-5	立地状況			
災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
			指定避難所	－
			福祉避難所	－
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-5	災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-5	災害備蓄倉庫 （南郷小放課後児童クラブ）	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 5		災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ）									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建設から15年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーは全て未対応です。										
性質等に応じ た状況		—									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
						築20年 経過					
	・2026年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

6) 災害備蓄倉庫（龍間）

① 施設概要

施設名		災害備蓄倉庫（龍間）							No.		2-6	
施設分類		その他、公用財産施設					運営形態		直営			
所在地		大字龍間 6 9 8 番の 3					地区（中学校区）		四条中学校			
所管部		危機管理室					所管課		危機管理室			
都市計画区域		市街化調整区域					用途地域		－			
土地合計面積		76㎡					所有区分		土地	市	建物	市
来客駐車台数		来客用	2	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
防災備蓄倉庫		S	2	151.66	2015	対象外	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			無	－					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-6	棟名	現況評価	
災害備蓄倉庫（龍間）	防災備蓄倉庫	築年数	6年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 32/32
			B 軽微な不具合が散見される 0/32
			C 深刻な不具合がある。 0/32
		バリアフリー	トイレ 対応済
			スロープ 対応済
			エレベーター 未対応
			出入口自動ドア 未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-6	棟名	評価結果		
災害備蓄倉庫（龍間）	防災備蓄倉庫	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	4	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	2	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	3.33	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-6	立地状況				
災害備蓄倉庫（龍間）	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○	
			0.5m未満	－	
			0.5～1.0m未満	－	
			1.0～2.0m未満	－	
			2.0m以上	－	
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
	イエローゾーン		－		
	レッドゾーン		－		
	避難所等指定状況		指定避難所	－	
			福祉避難所	－	
一時避難場所			－		
広域避難場所			－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-6	災害備蓄倉庫（龍間）	利用者数	人	50 (1.00)	50 (1.00)	50 (1.00)	

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・使用料	目的外使用料	光熱水費	施設修繕料	指定管理者委託料	委託料	賃借料（土地）	その他負担金（共益費・積立金）
2-6	災害備蓄倉庫（龍間）	2017年度	0	0	36	0	0	75	0	0
		2018年度	0	0	36	0	0	75	0	0
		2019年度	0	0	36	0	0	75	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 6	災害備蓄倉庫（龍間）									
建物性能の現況	建物性能ランク	A								
	・建設から6年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーは、トイレ、スロープのみ対応済みです。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	定期的な施設点検・計画的な部位修繕等を実施 ※14年後（2035年）に築20年（次回大規模改修等検討時期の目安）									
	・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。									

6) 文化財調査事務所

① 施設概要

施設名		文化財調査事務所							No.		2-6	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		住道1丁目5番18号				地区(中学校区)		住道中学校区				
所管部		生涯学習部				所管課		生涯学習課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		商業地域				
土地合計面積		463㎡				所有区分		土地	民間	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築	有無	無	－					
		うち車椅子	－		具体的内容	－						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
東棟		LS	1	80.86	1997	対象外	不要	不要		－		
西棟		LS	1	80.86	1997	対象外	不要	不要		－		
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-6	棟名	現況評価	
文化財調査事務所	東棟	築年数	24年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 39/39
			B 軽微な不具合が散見される 0/39
			C 深刻な不具合がある。 0/39
		バリアフリー	トイレ 未対応
			スロープ 未対応
			エレベーター 未対応
	西棟	バリアフリー	出入口自動ドア 未対応
			24年
			A 施設の使用に支障がない 39/39
		劣化状況	B 軽微な不具合が散見される 0/39
			C 深刻な不具合がある。 0/39
			トイレ 未対応
		バリアフリー	スロープ 未対応
			エレベーター 未対応
			出入口自動ドア 未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-6	棟名	評価結果		
文化財調査事務所	東棟	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）
	西棟	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-6	立地状況				
文化財調査事務所	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－	
			0.5m未満	○	
			0.5～1.0m未満	－	
			1.0～2.0m未満	－	
			2.0m以上	－	
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
	イエローゾーン		－		
	レッドゾーン		－		
	避難所等指定状況		指定避難所	－	
			福祉避難所	－	
一時避難場所			－		
広域避難場所			－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-6	文化財調査事務所	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-6	文化財調査事務所	2017年度	0	0	407	0	0	230	0	0
		2018年度	0	0	381	0	0	229	0	0
		2019年度	0	0	445	0	0	235	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 6	文化財調査事務所【東棟】									
建物性能の現況	建物性能ランク	B								
	・建設から24年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーは、全て未対応です。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	定期的な施設点検・計画的な部位修繕等を実施 ※16年後（2037年）に築40年（次回大規模改修等検討時期の目安）									
	・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

2 - 6	文化財調査事務所【西棟】									
建物性能の現況	建物性能ランク	B								
	・建設から24年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーは、全て未対応です。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討目安：築20年、築40年 ※建替検討目安：築50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	定期的な施設点検・計画的な部位修繕等を実施 ※16年後（2037年）に築40年（次回大規模改修等検討時期の目安）									
	・建物劣化状況として大きな不具合は確認できません。今後も定期的な施設点検を実施するとともに、計画的な修繕等を行う必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

7) し尿処理センター

① 施設概要

施設名		し尿処理センター							No.		2-7	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		運営委託				
所在地		新田境町5-1				地区（中学校区）		諸福中学校				
所管部		市民生活部				所管課		環境課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		工業地域				
土地合計面積		3,000㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	10	他施設との合築	有無	無	－						
	うち車椅子	－		具体的内容	－							
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		RC・S	3	706.00	2005	対象外	不要	不要		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-7	棟名	現況評価		
し尿処理センター	－	築年数	16年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	39/39
			B 軽微な不具合が散見される	0/39
			C 深刻な不具合がある。	0/39
		バリアフリー	トイレ	未対応
			スロープ	未対応
			エレベーター	未対応
			出入口自動ドア	未対応

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-7	棟名	評価結果		
し尿処理センター	－	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	1	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	2.67	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-7	立地状況			
し尿処理センター	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
	避難所等指定状況		指定避難所	－
福祉避難所			－	
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-7	し尿処理センター	搬入車両台数	台	1,597 (1.00)	1,483 (0.93)	1,470 (0.99)	単位：台

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-7	し尿処理センター	2017年度	0	0	25,337	6,102	0	13,016	0	0
		2018年度	0	0	22,226	5,624	0	13,613	0	0
		2019年度	0	0	24,507	4,960	0	13,925	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2-7		し尿処理センター									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建設から16年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。 ・また、バリアフリーは、全て未対応です。										
性質等に応じた状況		・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。 ・過去3年間の利用状況は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
					築20年 経過						
	・2025年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

8) 灰塚第1ポンプ場

① 施設概要

施設名		灰塚第1ポンプ場							No.		2-8	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		諸福2丁目5－798				地区（中学校区）		大東中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		29㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 （㎡）	建築年 （西暦）	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
－		W	1	28.50	1981	対象外	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-8	棟名	現況評価	
灰塚第1ポンプ場	—	築年数	40年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 34/37
			B 軽微な不具合が散見される 3/37
			C 深刻な不具合がある。 0/37
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-8	棟名	評価結果		
灰塚第1ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-8	立地状況				
灰塚第 1 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－	
			0.5m未満	－	
			0.5～1.0m未満	－	
			1.0～2.0m未満	○	
			2.0m以上	－	
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
	イエローゾーン		－		
	レッドゾーン		－		
	避難所等指定状況		指定避難所	－	
			福祉避難所	－	
一時避難場所			－		
広域避難場所			－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-8	灰塚第1ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-8	灰塚第1ポンプ場	2017年度	0	0	1,112	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	1,119	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	1,014	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－8		灰塚第1ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。										
性質等に応じた状況		・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	建屋 築40年 経過										
	・建屋については、2021年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。										
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

9) 御供田第1ポンプ場

① 施設概要

施設名		御供田第1ポンプ場							No.		2-9	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		御供田2丁目20-1				地区(中学校区)		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		-				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	-	他施設との合築		有無	無	-					
	うち車椅子	-			具体的内容	-						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
-		S	-	-	1983	対象外	-	-		-		
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-9	棟名	現況評価		
御供田第1ポンプ場	-	築年数	38年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	13/22
			B 軽微な不具合が散見される	9/22
			C 深刻な不具合がある。	0/22
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-9	棟名	評価結果		
御供田第1ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-9	立地状況			
御供田第 1 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	－	
		レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-9	御供田第1ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-9	御供田第1ポンプ場	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 9	御供田第 1 ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から38年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。									
性質等に応じた状況	—									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
			建屋 築40年 経過							
	・建屋については、2023年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。									
	・ポンプ施設については、47年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

10) 深野第1ポンプ場

① 施設概要

施設名		深野第1ポンプ場							No.		2-10	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		谷川1丁目1-1				地区(中学校区)		谷川中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種住居地域				
土地合計面積		24㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	-	他施設との合乗		有無	無	-				
		うち車椅子	-			具体的内容		-				
棟名		構造	階層	延床面積(㎡)	建築年(西暦)	耐震診断※1	耐震改修	耐震工事の必要性		備考		
-		S	-	24.00	1973	対象外	-	-		-		
施設立地リスク(ハザードエリア立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0~2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-10	棟名	現況評価		
深野第1ポンプ場	—	築年数	48年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	22/29
			B 軽微な不具合が散見される	7/29
			C 深刻な不具合がある。	0/29
		バリアフリー	トイレ	—
			スロープ	—
			エレベーター	—
			出入口自動ドア	—

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-10	棟名	評価結果		
深野第1ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
	平均点		2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-10	立地状況			
深野第 1 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-10	深野第1ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-10	深野第1ポンプ場	2017年度	0	0	907	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	871	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	805	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 1 0	深野第 1 ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から48年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
			建屋 築50年 経過							
	・建屋については、2023年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の検討を行う必要があります。									
	・ポンプ施設については、48年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

1 1) 深野第2ポンプ場

① 施設概要

施設名		深野第2ポンプ場							No.		2-11	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		深野1-2-7				地区（中学校区）		谷川中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－					
	うち車椅子	－			具体的内容		－					
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	－	4.00	2004	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-11	棟名	現況評価		
深野第2ポンプ場	-	築年数	17年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	26/29
			B 軽微な不具合が散見される	3/29
			C 深刻な不具合がある。	0/29
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-11	棟名	評価結果		
深野第2ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	3	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	3.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		A	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-11	立地状況			
深野第 2 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-11	深野第2ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-11	深野第2ポンプ場	2017年度	0	0	117	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	116	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	104	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 1 1	深野第 2 ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		A							
	・建設から17年が経過していますが、ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況です。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
				建屋 築20年 経過						
	・建屋については、2024年に築年後20年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必 要があります。									
	・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含 めた検討が必要です。									

13) 深野第4ポンプ場

① 施設概要

施設名		深野第4ポンプ場							No.		2-13	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		深野2丁目1-1				地区（中学校区）		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種中高層住居専用地域				
土地合計面積		11㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
－		CB	1	10.60	1972	対象外	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-13	棟名	現況評価	
深野第4ポンプ場	—	築年数	49年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 36/37
			B 軽微な不具合が散見される 1/37
			C 深刻な不具合がある。 0/37
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-13	棟名	評価結果		
深野第4ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-13	立地状況			
深野第 4 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況	指定避難所	－		
	福祉避難所	－		
	一時避難場所	－		
	広域避難場所	－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-13	深野第4ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-13	深野第4ポンプ場	2017年度	0	0	308	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	282	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	303	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 1 3			深野第 4 ポンプ場							
建物性能 の現況	建物性能ランク		B							
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から49年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
		建屋 築50年 経過								
	・建屋については、2022年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の検討を行う必要があります。									
	・ポンプ施設については、49年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

15) 三箇第3ポンプ場

① 施設概要

施設名		三箇第3ポンプ場							No.		2-15	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		三箇1丁目13				地区（中学校区）		谷川中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種中高層住居専用地域				
土地合計面積		10㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	1	10.30	1977	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-15	棟名	現況評価	
三箇第3ポンプ場	—	築年数	44年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 29/32
			B 軽微な不具合が散見される 3/32
			C 深刻な不具合がある。 0/32
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-15	棟名	評価結果		
三箇第3ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-15	立地状況			
三箇第 3 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
	避難所等指定状況		指定避難所	－
			福祉避難所	－
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-15	三箇第3ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-15	三箇第3ポンプ場	2017年度	0	0	330	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	331	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	307	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－15		三箇第3ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から44年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。										
性質等に応じた状況			・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。								
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
							建屋 築50年 経過				
	・建屋については、2027年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の検討を行う必要があります。										
	・ポンプ施設については、44年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

16) 三箇第6ポンプ場

① 施設概要

施設名		三箇第6ポンプ場							No.		2-16	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		三箇5丁目5				地区(中学校区)		谷川中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種中高層住居専用地域				
土地合計面積		13㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗	有無	無	－						
	うち車椅子	－		具体的内容	－							
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	－	12.70	1985	対象外	－	－		－		
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-16	棟名	現況評価	
三箇第6ポンプ場	—	築年数	36年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 28/31
			B 軽微な不具合が散見される 3/31
			C 深刻な不具合がある。 0/31
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-16	棟名	評価結果		
三箇第6ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-16	立地状況			
三箇第 6 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-16	三箇第6ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-16	三箇第6ポンプ場	2017年度	0	0	529	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	507	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	485	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－16		三箇第6ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から36年が経過しています。										
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
					建屋 築40年 経過						
	・建屋については、2025年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。										
	・ポンプ施設については、36年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

17) 北条第1ポンプ場

① 施設概要

施設名		北条第1ポンプ場						No.		2-17	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営			
所在地		北条2丁目19-36				地区(中学校区)		北条中学校			
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課			
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積		40㎡				所有区分		土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗	有無	無	－					
	うち車椅子	－		具体的内容	－						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考	
－		S	－	23.10	1974	対象外	－	－		－	
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満				
			土砂災害区域指定状況			無	－				
避難所等の指定有無			無	－							

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-17	棟名	現況評価	
北条第1ポンプ場	—	築年数	47年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 28/31
			B 軽微な不具合が散見される 3/31
			C 深刻な不具合がある。 0/31
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-17	棟名	評価結果		
北条第1ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-17	立地状況			
北条第 1 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-17	北条第1ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-17	北条第1ポンプ場	2017年度	0	0	251	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	232	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	202	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 1 7		北条第 1 ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から47年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。										
性質等に応じた状況		・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
				建屋 築50年 経過							
	・建屋については、2024年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の検討を行う必要があります。										
	・ポンプ施設については、47年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

18) 新田第1ポンプ場

① 施設概要

施設名		新田第 1 ポンプ場							No.		2-18	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		新田西町 4－2 0				地区（中学校区）		諸福中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		準工業地域				
土地合計面積		10㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 （㎡）	建築年 （西暦）	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
－		CB	1	9.60	1971	対象外	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-18	棟名	現況評価	
新田第1ポンプ場	—	築年数	50年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 27/29
			B 軽微な不具合が散見される 2/29
			C 深刻な不具合がある。 0/29
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-18	棟名	評価結果		
新田第1ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-18	立地状況			
新田第 1 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-18	新田第1ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-18	新田第1ポンプ場	2017年度	0	0	397	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	347	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	291	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 1 8		新田第 1 ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から50年が経過しています。										
性質等に応じ た状況		・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
	建屋 築50年 経過										
	・建屋については、2021年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の検討を行う 必要があります。										
	・ポンプ施設については、37年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含 めた検討が必要です。										

19) 南新田ポンプ場

① 施設概要

施設名		南新田ポンプ場							No.		2-19	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		南新田 1 丁目1-5				地区（中学校区）		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種住居地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	1	－	1985	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-19	棟名	現況評価		
南新田ポンプ場	-	築年数	36年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	27/29
			B 軽微な不具合が散見される	2/29
			C 深刻な不具合がある。	0/29
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-19	棟名	評価結果		
南新田ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-19	立地状況			
南新田ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況	指定避難所	－		
	福祉避難所	－		
	一時避難場所	－		
	広域避難場所	－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-19	南新田ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-19	南新田第1ポンプ場	2017年度	0	0	974	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	1,093	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	1,006	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 1 9	南新田ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から36年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					建屋 築40年 経過					
	・建屋については、2025年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必 要があります。									
	・ポンプ施設については、36年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含 めた検討が必要です。									

20) 泉町ポンプ場

① 施設概要

施設名		泉町ポンプ場						No.	2-20	
施設分類		その他、公用財産施設			運営形態		直営			
所在地		御供田 1 丁目 3 9 9			地区（中学校区）		住道中学校			
所管部		街づくり部都市整備室			所管課		水政課			
都市計画区域		市街化区域			用途地域		第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積		47㎡			所有区分		土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合築	有無	無	－				
	うち車椅子	－		具体的内容	－					
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考	
－		LS	1	20.10	1979	対象外	－	－	－	
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況		有	浸水想定0.5m未満				
			土砂災害区域指定状況		無	－				
避難所等の指定有無			無	－						

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-20	棟名	現況評価	
泉町ポンプ場	—	築年数	42年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 27/28
			B 軽微な不具合が散見される 1/28
			C 深刻な不具合がある。 0/28
		バリアフリー	トイレ —
			スロープ —
			エレベーター —
			出入口自動ドア —

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-20	棟名	評価結果		
泉町ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-20	立地状況			
泉町ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
		2.0m以上	－	
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況	指定避難所	－	
福祉避難所		－		
一時避難場所		－		
広域避難場所		－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-20	泉町ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-20	泉町ポンプ場	2017年度	0	0	108	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	113	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	98	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 0		泉町ポンプ場								
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から42年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
									建屋 築50年 経過	
	・建屋については、2029年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の検討を行う 必要があります。									
	・ポンプ施設については、39年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討 が必要です。									

21) 御供田第3ポンプ場

① 施設概要

施設名		御供田第3ポンプ場							No.		2-21	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		御供田 5 丁目 1 - 1 7				地区（中学校区）		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	－	－	1983	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-21	棟名	現況評価	
御供田第3ポンプ場	-	築年数	38年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 27/29
			B 軽微な不具合が散見される 2/29
			C 深刻な不具合がある。 0/29
		バリアフリー	トイレ -
			スロープ -
			エレベーター -
			出入口自動ドア -

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-21	棟名	評価結果		
御供田第3ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-21	立地状況			
御供田第3ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況	指定避難所	－		
	福祉避難所	－		
	一時避難場所	－		
	広域避難場所	－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-21	御供田第3ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-21	御供田第3ポンプ場	2017年度	0	0	1,222	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	1,190	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	1,013	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 1		御供田第 3 ポンプ場								
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から38年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
			建屋 築40年 経過							
	・建屋については、2023年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要 があります。									
	・ポンプ施設については、38年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含 めた検討が必要です。									

22) 銭屋川排水機場 ポンプ室

① 施設概要

施設名		銭屋川排水機場 ポンプ室							No.		2-22	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		平野屋 1 丁目 4				地区（中学校区）		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		212㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		RC	－	211.82	1986	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-22	棟名	現況評価		
銭屋川排水機場 ポンプ室	—	築年数	35年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	34/38
			B 軽微な不具合が散見される	4/38
			C 深刻な不具合がある。	0/38
		バリアフリー	トイレ	—
			スロープ	—
			エレベーター	—
			出入口自動ドア	—

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-22	棟名	評価結果		
銭屋川排水機場 ポンプ室	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-22	立地状況			
銭屋川排水機場 ポンプ室	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
	避難所等指定状況		指定避難所	－
			福祉避難所	－
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-22	銭屋川排水機場 ポンプ室	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-22	銭屋川排水機場 ポンプ室	2017年度	0	0	409	0	0	4,413	0	0
		2018年度	0	0	936	0	0	5,283	0	0
		2019年度	0	0	536	0	0	5,582	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 2		銭屋川排水機場 ポンプ室									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から35年が経過しています。										
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
						建屋 築40年 経過					
	・建屋については、2026年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。										
	・ポンプ施設については、35年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

23) 五軒堀川排水機場 ポンプ室

① 施設概要

施設名		五軒堀川排水機場 ポンプ室							No.		2-23	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		深野北5丁目				地区(中学校区)		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化調整区域				用途地域		-				
土地合計面積		-				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	-	他施設との合乗	有無	無	-						
	うち車椅子	-		具体的内容	-							
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
-		RC	-	-	1981	対象外	-	-		-		
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5~1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-23	棟名	現況評価		
五軒堀川排水機場 ポンプ室	-	築年数	40年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	33/37
			B 軽微な不具合が散見される	4/37
			C 深刻な不具合がある。	0/37
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-23	棟名	評価結果		
五軒堀川排水機場 ポンプ室	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-23	立地状況			
五軒堀川排水機場 ポンプ室	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
		イエローゾーン	－	
		レッドゾーン	－	
	避難所等指定状況	指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
一時避難場所		－		
広域避難場所		－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-23	五軒堀川排水機場 ポンプ室	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-23	五軒堀川排水機場 ポンプ室	2017年度	0	0	816	0	0	4,732	0	0
		2018年度	0	0	815	0	0	4,939	0	0
		2019年度	0	0	745	0	0	5,195	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 3	五軒堀川排水機場 ポンプ室									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	建屋 築40年 経過									
	・建屋については、施設劣化状況等を踏まえ、計画的な修繕等を行う必要があります。ポンプ施設については、40年が経過しているため、安定的な稼働に資する対策を計画的に講じているところです。									
	・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

24) 市場川ポンプ場

① 施設概要

施設名		市場川ポンプ場							No.		2-24	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		北条2丁目5－29				地区（中学校区）		北条中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		14㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合築		有無	無	－					
	うち車椅子	－			具体的内容		－					
棟名		構造	階層	延床面積 （㎡）	建築年 （西暦）	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	－	13.80	1981	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-24	棟名	現況評価		
市場川ポンプ場	－	築年数	40年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	26/29
			B 軽微な不具合が散見される	3/29
			C 深刻な不具合がある。	0/29
		バリアフリー	トイレ	－
			スロープ	－
			エレベーター	－
			出入口自動ドア	－

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-24	棟名	評価結果		
市場川ポンプ場	－	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	－	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク	B		

③ 施設の立地状況把握

2-24	立地状況			
市場川ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況	指定避難所	－	
福祉避難所		－		
一時避難場所		－		
広域避難場所		－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-24	市場川ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-24	市場川ポンプ場	2017年度	0	0	94	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	126	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	76	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 4	市場川ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	建屋 築40年 経過									
	・建屋については、2021年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。									
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

25) 百合ヶ丘ポンプ場

① 施設概要

施設名		百合ヶ丘ポンプ場							No.		2-25	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		北条1丁目16－16				地区（中学校区）		北条中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗	有無	無	－						
	うち車椅子	－		具体的内容	－							
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	－	－	1983	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-25	棟名	現況評価	
百合ヶ丘ポンプ場	-	築年数	38年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 25/29
			B 軽微な不具合が散見される 4/29
			C 深刻な不具合がある。 0/29
		バリアフリー	トイレ -
			スロープ -
			エレベーター -
			出入口自動ドア -

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-25	棟名	評価結果		
百合ヶ丘ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-25	立地状況			
百合ヶ丘ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況	指定避難所	－	
福祉避難所		－		
一時避難場所		－		
広域避難場所		－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-25	百合ヶ丘ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-25	百合ヶ丘ポンプ場	2017年度	0	0	17	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	18	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	15	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2-25		百合ヶ丘ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク		B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から38年が経過しています。										
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
			建屋 築40年 経過								
	・建屋については、2023年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。										
	・ポンプ施設については、38年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。										

26) 寺川ポンプ場

① 施設概要

施設名		寺川ポンプ場							No.		2-26	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		平野屋1丁目4－8				地区（中学校区）		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		準工業地域				
土地合計面積		446㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修		耐震工事 の必要性		備考	
－		S	－	445.98	1976	対象外	－		－		－	
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			無	－					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-26	棟名	現況評価		
寺川ポンプ場	—	築年数	45年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	25/31
			B 軽微な不具合が散見される	6/31
			C 深刻な不具合がある。	0/31
		バリアフリー	トイレ	—
			スロープ	—
			エレベーター	—
			出入口自動ドア	—

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-26	棟名	評価結果		
寺川ポンプ場	—	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-26	立地状況			
寺川ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況	指定避難所	－	
福祉避難所		－		
一時避難場所		－		
広域避難場所		－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-26	寺川ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-26	寺川ポンプ場	2017年度	0	0	3,332	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	3,584	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	2,995	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 6	寺川ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から45年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
						建屋 築50年 経過				
	・建屋については、2026年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の必要性を検討する必要があります。									
	・ポンプ施設については、45年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定）									

27) 御領ポンプ場

① 施設概要

施設名		御領ポンプ場						No.		2-27	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営			
所在地		新田境町 8				地区（中学校区）		諸福中学校			
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課			
都市計画区域		市街化区域				用途地域		工業地域			
土地合計面積		13㎡				所有区分		土地	市	建物	市
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合築	有無	無	－					
	うち車椅子	－		具体的内容	－						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考	
－		CB	－	13.00	1979	対象外	－	－		－	
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満				
			土砂災害区域指定状況			無	－				
避難所等の指定有無			無	－							

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-27	棟名	現況評価	
御領ポンプ場	－	築年数	42年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 26/29
			B 軽微な不具合が散見される 3/29
			C 深刻な不具合がある。 0/29
		バリアフリー	トイレ ー
			スロープ ー
			エレベーター ー
			出入口自動ドア ー

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-27	棟名	評価結果		
御領ポンプ場	－	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	－	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-27	立地状況			
御領ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
福祉避難所			－	
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-27	御領ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-27	御領ポンプ場	2017年度	0	0	796	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	796	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	732	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 7	御領ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から42年が経過しており、故障のリスクが高まっている状況です。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
									建屋 築50年 経過	
	・建屋については、2029年に築年後50年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、建替えや改修等の必要性を検討する必要があります。									
	・ポンプ施設については、42年が経過しており、早急な対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

28) 三箇第8ポンプ場

① 施設概要

施設名		三箇第8ポンプ場							No.		2-28	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		三箇5丁目6－34				地区（中学校区）		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－					
	うち車椅子	－			具体的内容		－					
棟名		構造	階層	延床面積 （㎡）	建築年 （西暦）	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		CB	－	－	1981	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-28	棟名	現況評価	
三箇第8ポンプ場	-	築年数	40年
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない 25/29
			B 軽微な不具合が散見される 4/29
			C 深刻な不具合がある。 0/29
		バリアフリー	トイレ -
			スロープ -
			エレベーター -
			出入口自動ドア -

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-28	棟名	評価結果		
三箇第8ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	B	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-28	立地状況			
三箇第 8 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況	指定避難所	－		
	福祉避難所	－		
	一時避難場所	－		
	広域避難場所	－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-28	三箇第8ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-28	三箇第8ポンプ場	2017年度	0	0	302	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	302	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	279	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 2 8		三箇第 8 ポンプ場										
建物性能 の現況	建物性能ランク		B									
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。											
性質等に応じた状況		・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。										
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
	建屋 築40年 経過											
	・建屋については、2021年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。											
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。											

3 1) 灰塚第3ポンプ場

① 施設概要

施設名		灰塚第3ポンプ場							No.		2-31	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		灰塚1丁目11－52				地区（中学校区）		大東中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗		有無	－	－					
	うち車椅子	－			具体的内容		－					
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		－	－	－	－	－	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-31	棟名	現況評価		
灰塚第3ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-31	棟名	評価結果		
灰塚第3ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		-	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-31	立地状況			
灰塚第 3 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
福祉避難所			－	
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-31	灰塚第3ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-31	灰塚第3ポンプ場	2017年度	0	0	170	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	158	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	146	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－31	灰塚第3ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね減少傾向にあります。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

3 2) 灰塚第 6 ポンプ場

① 施設概要

施設名		灰塚第6ポンプ場							No.		2-32	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		諸福 2 丁目 6				地区（中学校区）		大東中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
－		－	－	－	－	－	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※ 1 : 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-32	棟名	現況評価		
灰塚第6ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-32	棟名	評価結果		
灰塚第6ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4 点 : 供用開始後15年以内 3 点 : 供用開始後16年以上30年以内 2 点 : 供用開始後31年以上45年以内 1 点 : 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4 点 : ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3 点 : 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2 点 : 一部の部位で深刻な不具合がある 1 点 : 3 評価及び 2 評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4 点 : 4 項目 (又は 3 項目) すべて対応済 3 点 : 4 項目 (又は 3 項目) 中、1 項目のみ未対応 2 点 : 4 項目 (又は 3 項目) 中、2 項目未対応 1 点 : 4 項目 (又は 3 項目) 中、3 項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの 3 項目平均
		建物性能ランク	-	A : 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い (3.0点を超える) B : 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要 (2.0点以上3.0点以下) C : 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要 (2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-32	立地状況			
灰塚第6ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況	指定避難所	－		
	福祉避難所	－		
	一時避難場所	－		
	広域避難場所	－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-32	灰塚第 6 ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-32	灰塚第 6 ポンプ場	2017年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－32	灰塚第6ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から38年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	－									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、38年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

3 3) 深野第5ポンプ場

① 施設概要

施設名		深野第5ポンプ場							No.		2-33	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		深野 1 丁目 2				地区（中学校区）		谷川中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種住居地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	－	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
－		－	－	－	－	－	－	－	－			
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-33	棟名	現況評価		
深野第5ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-33	棟名	評価結果		
深野第5ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		-	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-33	立地状況				
深野第 5 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－	
			0.5m未満	－	
			0.5～1.0m未満	－	
			1.0～2.0m未満	○	
			2.0m以上	－	
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○	
	イエローゾーン		－		
	レッドゾーン		－		
	避難所等指定状況		指定避難所	－	
			福祉避難所	－	
一時避難場所			－		
広域避難場所			－		

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-33	深野第5ポンプ場	—	—	—	—	—	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-33	深野第5ポンプ場	2017年度	0	0	107	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	107	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	99	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－33	深野第5ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から37年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	－									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、37年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

34) 明美の里第2ポンプ場

① 施設概要

施設名		明美の里第2ポンプ場							No.		2-34	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		明美の里町10-17				地区(中学校区)		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種住居地域				
土地合計面積		-				所有区分		土地	市	建物	-	
来客駐車台数	来客用	-		他施設との合乗	有無	無	-					
	うち車椅子	-			具体的内容	-						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
-		-	-	-	-	-	-	-	-			
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			無	-					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-34	棟名	現況評価		
明美の里第2ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-34	棟名	評価結果		
明美の里第2ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク	-	-	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-34	立地状況			
明美の里第 2 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
福祉避難所			－	
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-34	明美の里第2ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-34	明美の里第2ポンプ場	2017年度	0	0	170	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	170	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	170	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－34		明美の里第2ポンプ場								
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から5年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、定期的な施設点検を確実に実施する必要があります。									

35) 平野屋第1ポンプ場

① 施設概要

施設名		平野屋第1ポンプ場							No.		2-35	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		平野屋1丁目7-298				地区(中学校区)		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		-				所有区分		土地	市	建物	-	
来客駐車台数	来客用	-		他施設との合築	有無	無	-					
	うち車椅子	-			具体的内容	-						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性	備考			
-		-	-	-	-	-	-	-	-			
施設立地リスク(ハザードエリア 立地有無)の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5~1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-35	棟名	現況評価		
平野屋第1ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-35	棟名	評価結果		
平野屋第1ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	-	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-35	立地状況			
平野屋第 1 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-35	平野屋第1ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-35	平野屋第1ポンプ場	2017年度	0	0	600	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	633	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	575	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－35	平野屋第1ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

36) 平野屋第3ポンプ場

① 施設概要

施設名		平野屋第3ポンプ場							No.		2-36	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		平野屋2丁目2－18				地区（中学校区）		住道中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		準工業地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	－		建物	－
来客駐車台数	来客用	－		他施設との合築	有無	無	－					
	うち車椅子	－			具体的内容	－						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		－	－	－	－	－	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			無	－					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-36	棟名	現況評価		
平野屋第3ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-36	棟名	評価結果		
平野屋第3ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	-	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-36	立地状況			
平野屋第3ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	○
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
	避難所等指定状況	土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
			イエローゾーン	－
			レッドゾーン	－
		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-36	平野屋第3ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比

・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-36	平野屋第3ポンプ場	2017年度	0	0	341	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	344	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	317	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－36		平野屋第3ポンプ場								
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定）									

37) 三箇第9ポンプ場

① 施設概要

施設名		三箇第9ポンプ場							No.		2-37	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		三箇5丁目5				地区（中学校区）		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第二種中高層住居専用地域				
土地合計面積		－				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数	来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－					
	うち車椅子	－			具体的内容	－						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
－		－	－	－	－	－	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定1.0～2.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1:耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-37	棟名	現況評価	
三箇第9ポンプ場	-	築年数	-
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない
			B 軽微な不具合が散見される
			C 深刻な不具合がある。
		バリアフリー	トイレ
			スロープ
			エレベーター
			出入口自動ドア

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-37	棟名	評価結果		
三箇第9ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目(又は3項目)すべて対応済 3点: 4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点: 4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点: 4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
		建物性能ランク	-	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-37	立地状況			
三箇第9ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	○
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-37	三箇第9ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-37	三箇第9ポンプ場	2017年度	0	0	1,147	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	1,149	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	1,044	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－37	三箇第9ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から39年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、39年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（1.0～2.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

38) 御供田第7ポンプ場

① 施設概要

施設名		御供田第7ポンプ場							No.		2-38	
施設分類		その他、公用財産施設					運営形態		直営			
所在地		－					地区（中学校区）		住道中学校			
所管部		街づくり部都市整備室					所管課		水政課			
都市計画区域		市街化区域					用途地域		第二種中高層住居専用地域			
土地合計面積		－					所有区分		土地	市	建物	－
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合築		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)		建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修		耐震工事 の必要性		備考
－		－	－	－		－	－	－		－		－
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況				有	浸水想定0.5～1.0m未満				
			土砂災害区域指定状況				無	－				
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-38	棟名	現況評価		
御供田第7ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」（各所管課作成）参照

イ) 評価結果

2-38	棟名	評価結果		
御供田第7ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：4項目（又は3項目）すべて対応済 3点：4項目（又は3項目）中、1項目のみ未対応 2点：4項目（又は3項目）中、2項目未対応 1点：4項目（又は3項目）中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク	-	-	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い（3.0点を超える） B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要（2.0点以上3.0点以下） C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要（2.0点未満）

③ 施設の立地状況把握

2-38	立地状況			
御供田第 7 ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
福祉避難所			－	
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去3年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-38	御供田第7ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去3年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-38	御供田第7ポンプ場	2017年度	0	0	324	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	325	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	300	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－38	御供田第7ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から39年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は概ね横ばいです。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、39年が経過しており、対応を検討する必要があります。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

39) 新津の辺ポンプ場

① 施設概要

施設名		新津の辺ポンプ場							No.		2-39	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		津の辺町 3				地区（中学校区）		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		準住居地域				
土地合計面積		-				所有区分		土地	市	建物	-	
来客駐車台数	来客用	-	他施設との合乗		有無	無	-					
	うち車椅子	-			具体的内容	-						
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
-		-	-	-	-	-	-	-		-		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1: 耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-39	棟名	現況評価		
新津の辺ポンプ場	-	築年数	-	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	-
			B 軽微な不具合が散見される	-
			C 深刻な不具合がある。	-
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-39	棟名	評価結果		
新津の辺ポンプ場	-	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	-	4点: 供用開始後15年以内 3点: 供用開始後16年以上30年以内 2点: 供用開始後31年以上45年以内 1点: 供用開始後46年以上
		劣化状況	-	4点: ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点: 半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点: 一部の部位で深刻な不具合がある 1点: 3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点: 4項目 (又は3項目) すべて対応済 3点: 4項目 (又は3項目) 中、1項目のみ未対応 2点: 4項目 (又は3項目) 中、2項目未対応 1点: 4項目 (又は3項目) 中、3項目以上未対応
		平均点	-	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク	-	-	A: 適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い (3.0点を超える) B: 施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要 (2.0点以上3.0点以下) C: 優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要 (2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-39	立地状況			
新津の辺ポンプ場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	○
			0.5～1.0m未満	－
			1.0～2.0m未満	－
		2.0m以上	－	
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
		レッドゾーン	－	
避難所等指定状況		指定避難所	－	
		福祉避難所	－	
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-39	新津の辺ポンプ場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-39	新津の辺ポンプ場	2017年度	0	0	498	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	355	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	201	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2－39	新津の辺ポンプ場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	－								
	・ポンプ施設については、設置から23年が経過しています。									
性質等に応じ た状況	・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	・ポンプ施設については、定期的な施設点検を確実に実施する必要があります。 ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

40) 深野北用排水機場

① 施設概要

施設名		深野北用排水機場							No.		2-40	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		深野北2丁目				地区（中学校区）		深野中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		-				
土地合計面積		-				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	-	他施設との合乗		有無	無	-				
		うち車椅子	-			具体的内容		-				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
ポンプ室		CB	-	36.75	1981	対象外	-	-		-		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	-					
避難所等の指定有無			無	-								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-40	棟名	現況評価		
深野北用排水機場	ポンプ室	築年数	40年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	24/29
			B 軽微な不具合が散見される	5/29
			C 深刻な不具合がある。	0/29
		バリアフリー	トイレ	-
			スロープ	-
			エレベーター	-
			出入口自動ドア	-

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成)参照

イ) 評価結果

2-40	棟名	評価結果		
深野北用排水機場	ポンプ室	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	2	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	-	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
	平均点		3.00	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-40	立地状況			
深野北用排水機場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
	レッドゾーン		－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
福祉避難所			－	
一時避難場所			－	
広域避難場所			－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去 3 年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-40	深野北用排水機場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去 3 年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-40	深野北用排水機場	2017年度	0	0	229	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	221	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	189	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 4 0	深野北用排水機場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建物性能ランクがBとなっているものの、ポンプ施設については、設置から40年が経過しており、故障のリスクを考慮する必要があります。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	建屋 築40年 経過									
	・建屋については、2021年に築年後40年を経過するため、施設劣化状況等を踏まえ、改修等の必要性を検討する必要があります。									
	・ポンプ施設については、40年が経過しており、対応の検討が必要です。（ポンプ施設耐用年数を40年と設定） ・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

4 1) 南郷排水機場

① 施設概要

施設名		南郷排水機場							No.		2-41	
施設分類		その他、公用財産施設				運営形態		直営				
所在地		太子田 1 丁目				地区（中学校区）		南郷中学校				
所管部		街づくり部都市整備室				所管課		水政課				
都市計画区域		市街化区域				用途地域		第一種住居地域				
土地合計面積		5㎡				所有区分		土地	市	建物	市	
来客駐車台数		来客用	－	他施設との合乗		有無	無	－				
		うち車椅子	－			具体的内容		－				
棟名		構造	階層	延床面積 (㎡)	建築年 (西暦)	耐震診断 ※1	耐震改修	耐震工事 の必要性		備考		
ポンプ室		CB	－	4.60	1965	対象外	－	－		－		
施設立地リスク（ハザードエリア 立地有無）の状況			浸水想定区域指定状況			有	浸水想定0.5～1.0m未満					
			土砂災害区域指定状況			無	－					
避難所等の指定有無			無	－								

※1：耐震改修促進法に基づく耐震診断の対象有無
 <大東市公共施設白書施設カルテ、大東市総合防災マップを基に作成>

② 建物性能の現況評価

ア) 現況把握

2-41	棟名	現況評価		
南郷排水機場	ポンプ室	築年数	56年	
		劣化状況	A 施設の使用に支障がない	23/29
			B 軽微な不具合が散見される	6/29
			C 深刻な不具合がある。	0/29
		バリアフリー	トイレ	—
			スロープ	—
			エレベーター	—
			出入口自動ドア	—

※劣化状況評価の詳細は別添資料「各施設の劣化状況評価」(各所管課作成) 参照

イ) 評価結果

2-41	棟名	評価結果		
南郷排水機場	ポンプ室	評価項目	評価点	評価の考え方
		築年数	1	4点：供用開始後15年以内 3点：供用開始後16年以上30年以内 2点：供用開始後31年以上45年以内 1点：供用開始後46年以上
		劣化状況	4	4点：ほとんどの部位において施設の使用に支障がない状況 3点：半数以上の項目で軽微な不具合が散見される 2点：一部の部位で深刻な不具合がある 1点：3評価及び2評価のいずれにも該当する
		バリアフリー	—	4点：4項目(又は3項目)すべて対応済 3点：4項目(又は3項目)中、1項目のみ未対応 2点：4項目(又は3項目)中、2項目未対応 1点：4項目(又は3項目)中、3項目以上未対応
	平均点		2.50	築年数、劣化状況、バリアフリーの3項目平均
	建物性能ランク		B	A：適正な管理に向けた対策の優先順位は相対的に低い(3.0点を超える) B：施設状況を踏まえ優先的な保全等の対応が必要(2.0点以上3.0点以下) C：優先的に適正な管理に向けた対策の検討を行うことが必要(2.0点未満)

③ 施設の立地状況把握

2-41	立地状況			
南郷排水機場	施設立地リスク（ハザードエリア立地有無）の状況	浸水想定区域 指定状況	指定なし	－
			0.5m未満	－
			0.5～1.0m未満	○
			1.0～2.0m未満	－
			2.0m以上	－
		土砂災害区域 指定状況	指定なし	○
	イエローゾーン		－	
		レッドゾーン	－	
	避難所等指定状況		指定避難所	－
			福祉避難所	－
		一時避難場所	－	
		広域避難場所	－	

※大東市総合防災マップを基に作成

④ 施設の性質等に応じた現況把握

ア) 過去３年間の施設の利用状況

No.	施設名称	利用指標		利用状況			備考
			単位	2017年度	2018年度	2019年度	
2-41	南郷排水機場	－	－	－	－	－	記載なし

※利用状況における記載

・数値()書き：前年比 ・網掛け：赤＝前年より増加、青＝前年より減少

イ) 過去３年間の施設管理コスト及び施設利用料金収入の状況

No	施設名称	年度	収入		支出					
			利用料 ・ 使用料	目的外 使用料	光熱水費	施設 修繕料	指定 管理者 委託料	委託料	賃借料 (土地)	その他 負担金 (共益費・ 積立金)
2-41	南郷排水機場	2017年度	0	0	439	0	0	0	0	0
		2018年度	0	0	355	0	0	0	0	0
		2019年度	0	0	275	0	0	0	0	0

※大東市歳入歳出決算書、各所管課作成の調査票を基に作成

⑤ 適正な管理・更新に向けた対策の方向性

2 - 4 1	南郷排水機場									
建物性能 の現況	建物性能ランク	B								
	・建屋については、建設から56年が経過しているものの建物性能ランクがBとなっている。ポンプ施設については、設置から13年が経過している。									
性質等に応じた状況	・過去3年間の維持管理・運営費は減少傾向にあります。									
実施計画 ※大規模改修等検討 目安：築20年、築40 年 ※建替検討目安：築 50年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	築56年が経過 建替えや改修等の検討を行う必要あり									
	・建屋については、2021年に築年後56年を経過することになり、今後、建替えや改修等の検討を行う必要があります。									
	・ポンプ施設については、定期的な施設点検を確実に実施する必要があります。									
	・なお、当該施設は、浸水想定区域（0.5～1.0m未満）に立地するため、次回の建替え検討時には、施設立地も含めた検討が必要です。									

（４）施設類型別の現況把握結果を踏まえた優先順位の考え方

対策の優先順位について、建物性能ランク及建物立地状況（ハザードエリア指定状況）から考えた場合、「その他公用財産施設」については、建物性能ランクが「C」ランクに該当する施設を優先的に今後の対策の必要性等について検討を進めるものとします。また、ハザードエリア指定状況について施設による異なるため、ハザードリスクが高い区域に立地する施設については、次回の建替検討時に施設立地も含めた検討を行うものとします。

表 各施設別の建物性能ランク及びハザードエリア指定状況のまとめ

建物性能ランク	ハザードエリア指定			
	区域指定なし	【浸水】2m未満 及び 【土砂災害】指定なし	【浸水】2m以上 または 【土砂災害】 イエローゾーン	【土砂災害】 レッドゾーン
A	2-6.災害備蓄倉庫（龍間）	2-11.深野第2ポンプ場		
B	2-26.寺川ポンプ場	2-2.野崎消防倉庫（第四分団車庫） 2-3.災害備蓄倉庫（御供田） 2-4.災害備蓄倉庫（三箇） 2-5.災害備蓄倉庫（南郷小放課後児童クラブ） 2-6.文化財調査事務所（東棟） 2-6.文化財調査事務所（西棟） 2-7.し尿処理センター 2-8.灰塚第1ポンプ場 2-9.御供田第1ポンプ場 2-10.深野第1ポンプ場 2-13.深野第4ポンプ場 2-15.三箇第3ポンプ場 2-16.三箇第6ポンプ場 2-17.北条第1ポンプ場 2-18.新田第1ポンプ場 2-19.南新田ポンプ場 2-20.泉町ポンプ場 2-21.御供田第3ポンプ場 2-22.銭屋川排水機場ポンプ室 2-23.五軒堀川排水機場ポンプ室 2-24.市場川ポンプ場 2-25.百合ヶ丘ポンプ場 2-27.御領ポンプ場 2-28.三箇第8ポンプ場 2-40.深野北用排水機場（ポンプ室） 2-41.南郷排水機場（ポンプ室）		
C			2-1.北条消防倉庫（第一分団車庫）	
—	2-34.明美の里第2ポンプ場 2-36.平野屋第3ポンプ場	2-31.灰塚第3ポンプ場 2-32.灰塚第6ポンプ場 2-33.深野第5ポンプ場 2-35.平野屋第1ポンプ場 2-37.三箇第9ポンプ場 2-38.御供田第7ポンプ場 2-39.新津の辺ポンプ場		

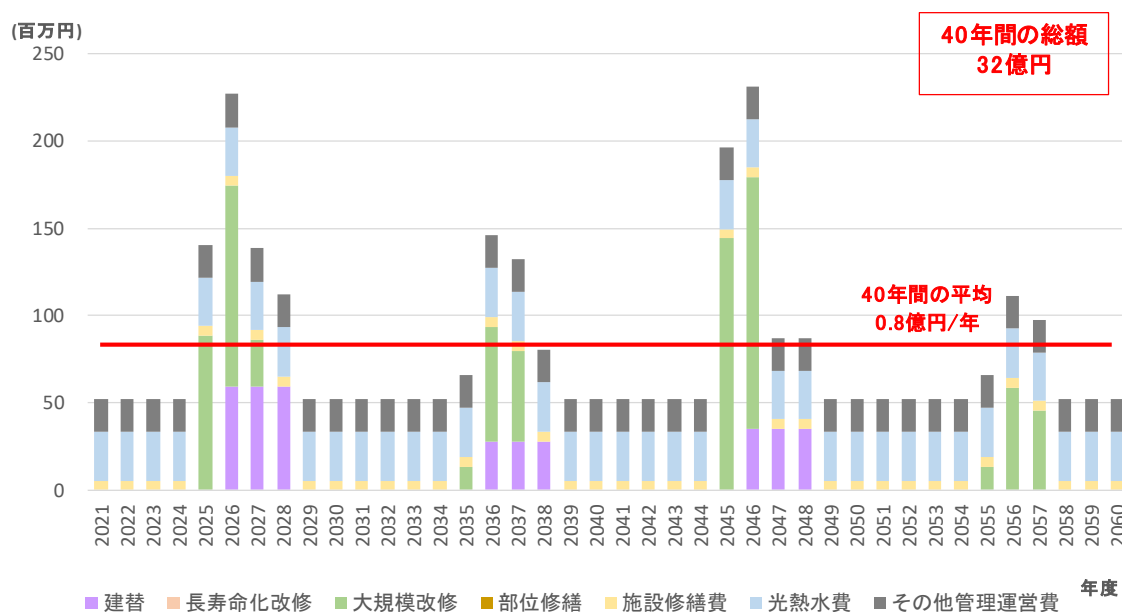
※（★）は避難所等の指定あり

(5) 対策費用

その他公共財産施設の施設全体で、今後 10 年間で約 9.3 億円の建物維持・更新費（改修・更新費に加え、維持管理・運営費を含む。）が見込まれます。

また、今後の 40 年間の費用総額として、約 32.3 億円（年間あたり約 0.8 億円）が見込まれますが、長寿命化対策を講じる場合には、約 31.0 億円（年間あたり約 0.8 億円）の費用が見込まれ、一定の削減効果が期待できます。

《現状趨勢ケース》



《長寿命化改修等対策ケース》

